

## 防災地域建設委員長報告

令和8年2月定例会

防災地域建設委員長報告をいたします。

防災地域建設委員会に付託されました議案の審査結果等について報告いたします。

本委員会に付託されました議案は、「島根県営住宅条例の一部を改正する条例」など条例案2件、「契約の締結について」など一般事件案3件、「令和8年度島根県一般会計予算」など予算案20件であります。

これらの議案について、執行部に説明を求め、慎重に審査いたしました結果、第3号議案「令和8年度島根県一般会計予算」、第20号議案「令和8年度島根県水道事業会計予算」、第21号議案「令和8年度島根県宅地造成事業会計予算」の予算案3件については賛成多数により、またその他の議案については全会一致をもって、原案どおり可決・承認すべきとの審査結果でありました。

全会一致とならなかった第3号議案については、宍道断層に隣接している松江北道路のルートは防災上の観点からは不適格であり見直すべきである。また、原発はなくすべきであるとの理由から反対であるとの意見がありました。

また、第20号議案及び第21号議案については、電気事業会計の利益剰余金は江津地域拠点工業団地の分譲単価抑制ではなく、物価高騰に苦しむ住民の負担軽減として水道用水単価の引下げに使うべきであるとの理由から反対であるとの意見がありました。

議論を経て、最終的には挙手による採決を行ったところ、いずれの議案も賛成多数により、原案のとおり可決すべきとの審査結果でありました。

次に、議案の審査過程における執行部からの説明、委員からの質疑、意見等のうち主なものについて報告いたします。

まず、第3号議案「令和8年度島根県一般会計予算」のうち、防災部所管分についてであります。「震災・風水害等災害対策事業」について、委員から、災害時にどう行動するかを住民に理解してもらうために、様々な機会をとらえて、きめ細かく啓発や防災訓練を行う必要があるとの意見があり、執行部からは、自主防災組織のリーダーと共に地域の実情に応じた訓練を実施したり、公民館等で出前講座や講演会を行うなどして、住民の防災意識の向上・醸成に努めていきたいとの回答がありました。

次に、地域振興部所管分についてであります。「中山間地域総合対策推進事業」について、委員から、地域づくりのリーダーの高齢化が進んでおり、後継者となる人材の育成をしっかりと行ってほしいとの意見があり、執行部からは、地域づくりの担い手となる人材の育成研修や、そのリーダーを支える役割を担う集落支援員に対するアドバイザー派遣等を実施しており、リーダーとそれを支える人材との複数体制で地域を支えられるようにしていきたいとの回答がありました。

また、「萩・石見空港路線維持事業」について、委員から、若い世代に島根に来てもらうために、例えば、アニメのキャラクターを県のキャラクターとして選定し、そのオブジェを設置することなどを考えてはどうかとの意見があり、執行部からは、萩・石見空港の利用者の年齢層は高く、若年層の利用促進は従来からの課題であり、アニメの活用についても検討しているとの回答がありました。

次に、報告事項など所管事項調査における質疑、意見等のうち主なものについて申し上げます。

企業局所管事項についてであります。委員から、電気事業会計はFIT制度の適用により利益が生じているが、それ以外の事業会計は経営が厳しく、今後は更に水道管等の老朽化対策に多額の費用が生じる。例えば、電気事業の利益を活用し、いろいろな事業に使える島根型基金のようなものを考えてもよいのではないかとの意見がありました。

最後に、3月6日に開催しました本委員会において、中国電力に対して参考人招請を行い、島根原発2号機のプルサーマル計画について聴取いたしました。中国電力の説明に対する委員からの意見等のうち主なものについて申し上げます。

委員からは、使用済燃料の再処理技術が確立されていない状況で、老朽化が進む原発でプルサーマルを行うことは大変危険であり、現在の計画どおりに国内で再処理工場が完成しない場合は中止すべきであるとの意見がありました。また、別の委員からは、原発の安全性や稼働の可否は国が判断することであり、電力事業者が行うべきは、新規基準を満たす原発を建設し、安全に稼働させることである。まずもって細心の注意を払って原発を稼働させることに注力すべきであるとの意見がありました。さらに、別の委員からは、一番大事なことは安全性の確保であり、全てに優先して取り組んでほしい。また、プルサーマル計画については、住民に丁寧にしっかり説明してほしいとの意見がありました。

関係者におかれては、当日の様々な意見等に真摯に向き合っていただくとともに、繰り返しになりますが、今後も安全性の確保を最優先として取り組んでいただくよう求めるものであります。

以上、防災地域建設委員会における審査の概要等を申し述べ、委員長報告といたします。